

2024年12月期 第2四半期 決算説明会

2024年 8月22日

 **立川ブラインド工業株式会社**

(東京証券取引所 プライム市場 証券コード 7989)

1. 2024年12月期 第2四半期決算概況
2. 2023年～2025年
中期経営計画の進捗状況
3. 企業価値向上の取組み

Appendix



1. 2024年12月期 第2四半期決算概況

売上高 前年比 Δ 245百万円

営業利益 前年比 +45百万円

セグメント	売上前年比	上期業績
室内外装品 関連事業	 UP +1.5%	新規住宅着工戸数は戸建てを中心に減少 一部製品の価格改定や運賃收受価格改定により増収 介護関連施設向け間仕切り売上が好調
駐車場装置 関連事業	 DOWN Δ 8.4%	パズルタワーの新規物件減少 改修工事や保守売上が堅調に推移し、増益を確保
減速機 関連事業	 DOWN Δ 20.1%	工作機械市況は前年割れで推移 販売先の在庫調整影響があり、 汎用製品やオーダー製品の売上が減少

連結業績

(単位：百万円)

	2024年度第2四半期				2023年度第2四半期	
	金額	構成比	前年比	予算比	金額	構成比
売上高	20,169	100.0%	98.8%	97.7%	20,414	100.0%
売上総利益	8,445	41.9%	99.8%	98.1%	8,461	41.4%
販売費及び一般管理費	6,269	31.1%	99.0%	95.0%	6,331	31.0%
営業利益	2,175	10.8%	102.1%	108.2%	2,129	10.4%
経常利益	2,284	11.3%	99.1%	108.8%	2,306	11.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,539	7.6%	103.9%	112.4%	1,482	7.3%

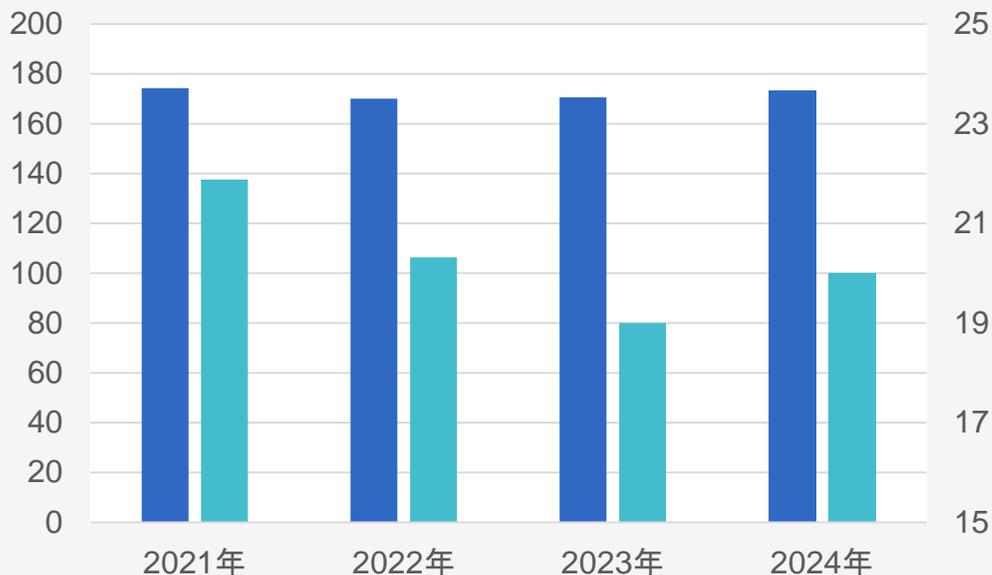
トピックス

- ・売上高は、室内外装品関連事業が増収。駐車場装置関連事業、減速機関連事業が減収。
- ・売上総利益率は0.5ポイント上昇（原材料高騰の影響を販売単価の上昇で補い、利益率が向上）
- ・営業利益以下は計画を上回り、通期目標の達成に向け順調に進捗。
- ・投資有価証券売却益の計上により、当期純利益は増益を確保。

室内外装品関連事業

売上: 億円

利益: 億円



売上高

前年比

173億18百万円 101.5%

営業利益

前年比

20億04百万円 105.5%



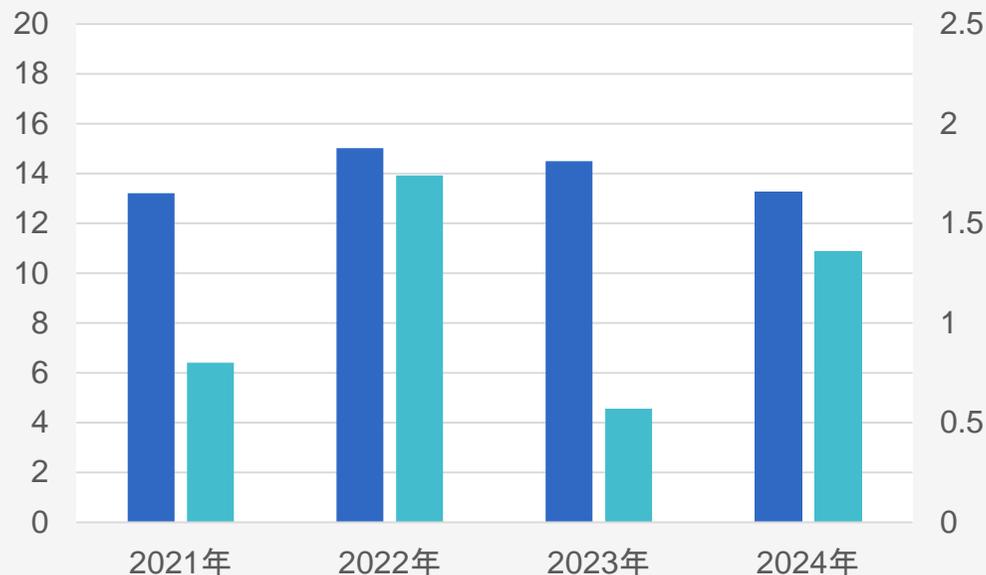
2024年度概況

- 新設住宅着工戸数減少の影響を受け、住宅向け売上が減少。
- + 一部製品価格改定や、運賃收受の価格改定により、売上と利益を確保。
- + 非住宅向け市場において、介護施設物件の改修更新案件の間仕切り売上が増加。

駐車場装置関連事業

売上: 億円

利益: 億円



売上高

前年比

13億27百万円

91.6%

営業利益

前年比

1億36百万円

235.7%



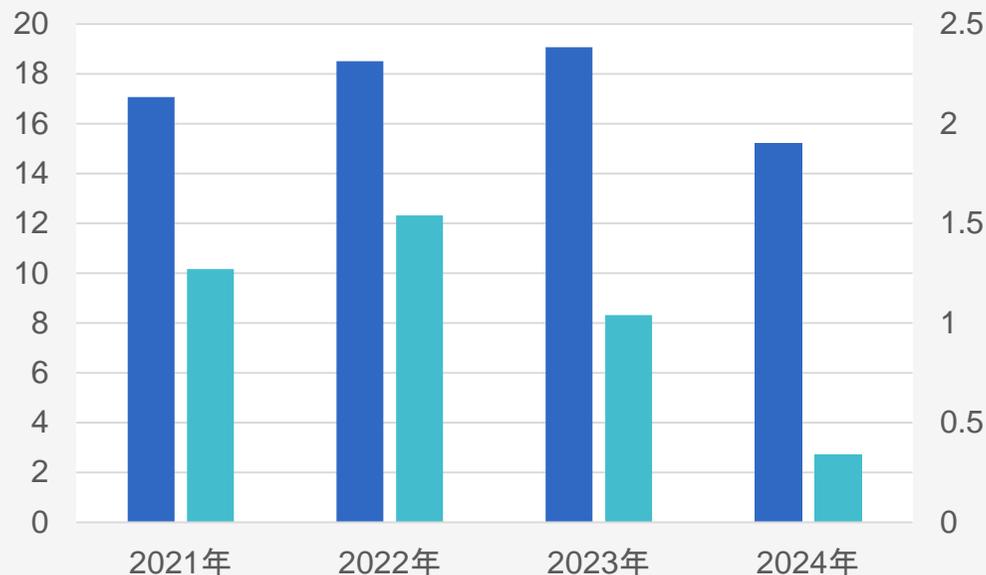
2024年度概況

- 新設パズルタワー物件の売上が減少。
- + 利益率の高い既存納入物件に対する改修工事や保守売上が堅調に推移し、増益を確保。

減速機関連事業

売上:億円

利益:億円



売上高

前年比

15億23百万円 79.9%

営業利益

前年比

34百万円 19.9%



2024年度概況

- 販売先の在庫調整の影響により、汎用製品・オーダー製品の売上が減少。
- + サーボモータ事業を2024年1月に譲受、生産体制を整備し、販売活動を開始。

2024年12月期 中間連結貸借対照表

単位：百万円

項目	2023年 12月	2024年 6月	増減
流動資産	39,110	38,456	△654
固定資産	24,031	24,288	+256
流動負債	9,963	7,974	△1,988
固定負債	2,736	2,842	+105
純資産	50,442	51,928	+1,485
総資産	63,142	62,744	△397

自己資本比率 72.9% 75.6% +2.7%

主な増減要因

- 現預金△503
- 売掛金△1,490
- 棚卸資産+921

- 有形固定資産△12
取得+514
 - ・ 技術研究棟建設費+240
 - ・ フォレティアリニューアル+202
 自然塗料塗装設備・金型購入償却△528
- 投資有価証券+449
 - ・ 保有株式の時価上昇

- 利益剰余金+1,094
 - ・ 当期純利益の計上+1539
 - ・ 期末配当の実施△445
- 自己株式△164
 - ・ 前年から継続で取得

単位：百万円

項目	2023年 6月	2024年 6月
営業活動による キャッシュ・フロー	+ 1,355	+ 467
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,295	△ 1,013
財務活動による キャッシュ・フロー	△997	△ 485
現金及び現金同等物の 増減額	△919	△ 1,003
現金及び現金同等物の 期末残高	15,058	14,398

主な増減要因

- 営業活動
 - ・ 税金等調整前利益 + 2,381(前年並)
 - ・ フォレティアリニューアルによる
原材料在庫増加△821
 - ・ 法人税、消費税の支払増加△1,214
- 投資活動
 - ・ 有形固定資産の取得△668
技術研究棟建設費支払
フォレティアリニューアル
自然塗料塗装設備・金型購入
 - ・ 投資有価証券の売却 + 346
- 財務活動
 - ・ 期末配当実施△465
1株24円(前年から3円増配)
 - ・ 自己株式取得△163
(2024年1～3月)



2. 2023年～2025年 中期経営計画の進捗状況

ビジョン

タチカワビジョン2025 ～継続と進化～

ものづくりとマーケティング

経営基盤の強化

サステナビリティへの取組み

戦略

室内外装品関連事業

- ・マーケティングの継続・進化
- ・技術革新
- ・生産体制の強化
- ・戦略に必要な人材の確保と育成
- ・計画的な事業拠点整備

減速機関連事業

- ・個別品の差別化戦略
- ・カタログ品の販売強化

駐車場装置関連事業

- ・新規物件獲得強化
- ・付加価値提案による改造・改修物件の獲得

サステナビリティ

E(環境)

- ・温室効果ガス排出量の削減
- ・環境配慮型設計の推進

S(社会)

- ・人にやさしい快適な環境づくり
- ・健康経営の推進
- ・社員の多様性拡大

G(ガバナンス)

- ・コーポレートガバナンス強化
- ・リスクマネジメントの強化
- ・コンプライアンスの徹底

「安心・安全・快適・環境」に「健康」をテーマに加えた製品政策

◆調光タテ型ブラインド『エアレ』新発売（2024年2月）

製品の特長

◆カーテンのような柔らかさと、タテ型ブラインドのスッキリとしたデザインを良いとこどり

従来のタテ型ブラインドと異なり、カーテンのような柔らかさと立体感を持つU字状にウェーブした生地とタテ型ブラインド特有のスッキリとしたデザインをあわせ持つ製品。
カーテン市場からのシェア奪取、タテ型ブラインドにおける新たな需要創造を図る。

◆採光と眺望、出入りを自在にコントロールできる調光ファブリック製品

ドレープとレースが一体となった生地となっており、角度調節で調光を自由にコントロール可能。
また、生地が1枚ずつ独立しているタテ型ブラインドの為、洗濯物の取り込みなどで室内との行き来が頻繁な場所でも、ブラインドを開けることなく、カーテンをすり抜けるようにどこからでも自由に入出入りすることが可能。

また、市場において調光ができるファブリック製品の需要が拡大傾向にあり、昨年発売の調光ロールスクリーン「ルミエ」においても売上拡大傾向。
今回発売の調光タテ型ブラインド「エアレ」を含めた調光製品の売上拡大を目指す。



「安心・安全・快適・環境」に「健康」をテーマに加えた製品政策

◆木製ブラインド 『フォレティア』 シリーズ リニューアル (2024年5月)

今回の主なリニューアルポイント

◆『国産材（ヒノキ・スギ）』『自然由来の塗料』を使用した木製スラット

カーボンニュートラルの意識の高まりを背景に、木造の高層ビルが増加傾向にあり、窓まわりをはじめ天然木を使用した製品の需要拡大が見込まれる中、国産のヒノキやスギを使用したスラットを新たに追加。また、自社工場内に塗装工程を新設し、桐スラットと国産材スラットにアマニ油を原料とした自然塗料を塗装したスラットもラインナップ。国内の森林資源を活用し、森林環境の保全・活性化、持続可能な循環型社会への貢献を目指す。

◆FSC®認証※木材を使用したスラット『ネイチャー』（FSC®-C195138）

FSC®100%認証材を使用したスラットを新たに追加。また、2023年12月に当社の生産拠点である新潟工場、滋賀工場にてCOC認証を取得。木材の仕入から製品の組立まで適切な管理で生産を行い、持続可能な社会の実現に貢献。

◆スマートインテリアシェード ホームタコス

『フォレティア エグゼ』『フォレティア』発売

住宅のIoT化が進む中で、当社初の木製ブラインドのホームタコスを発売。また、オプションとして、充電式のバッテリーを搭載した「バッテリー仕様」を発売。リフォームにおける窓まわりのコンセントへの課題に対応。

※FSC®認証 (FSC®-C195138)

責任ある管理された森林と、限りある森林資源を将来にわたって使い続けられるよう適切に調達された木部材に対する国際認証制度。



技術研究棟の新設

◆概要

所在地	千葉県船橋市西浦2-8-7
竣工	2024年9月予定
投資額	7.5億円予定（自己資金）
敷地面積	914㎡
構造	地上4階建 建築面積 463㎡ 延床面積 1,372㎡
特長	設置環境を含めた新規研究開発・実証試験拠点 省エネ設備、空調・照明一元管理システム導入



技術研究棟 外観イメージ

◆建築の狙い

- ・ 複数拠点に分散していた研究・開発設備の集約
- ・ 新たな視点・発想により、住空間における「安心・安全・快適・環境・健康」を基本とした製品開発や価値の創造
- ・ 実際の設置場所や使い方を想定した環境下での製品提案



◆期待効果

- ・ **開発スピードの向上**
- ・ 社外との技術交流による**開発力強化**
- ・ 当社製品の**提案力強化**
施主、設計、ゼネコンへの機能性訴求による受注獲得機会の強化
- ・ 将来に向けた研究テーマへの取り組み 等
新技術や新素材、新製法を活用した研究開発の推進

サーボモータ事業譲受による減速機関連事業の強化

◆ バッテリー駆動用ACサーボモータ 発売 (2024年4月)

◆ 自動化や省人化、歯車ソリューションを活用した提案が可能

AGV/AMR用途に最適な仕様となっており、今後需要拡大が見込まれる自動化や省人化に向けたご提案や歯車ソリューションを活用した、減速機・モータ・ドライバー一体のご提案が可能。

◆ 製品の特長

- ・ 0.1kW～55kWまで幅広くラインナップ。
物流用AGVの他、重量級の特殊産業車輛まで対応可能。
- ・ 0.1kW～0.75kWのシリーズはAGV車輪駆動に最適な2軸ドライバーの対応が可能。
- ・ 搬送台車の振動に十分耐えられる、耐振性に優れた設計。
- ・ 回生電力の再利用が可能。

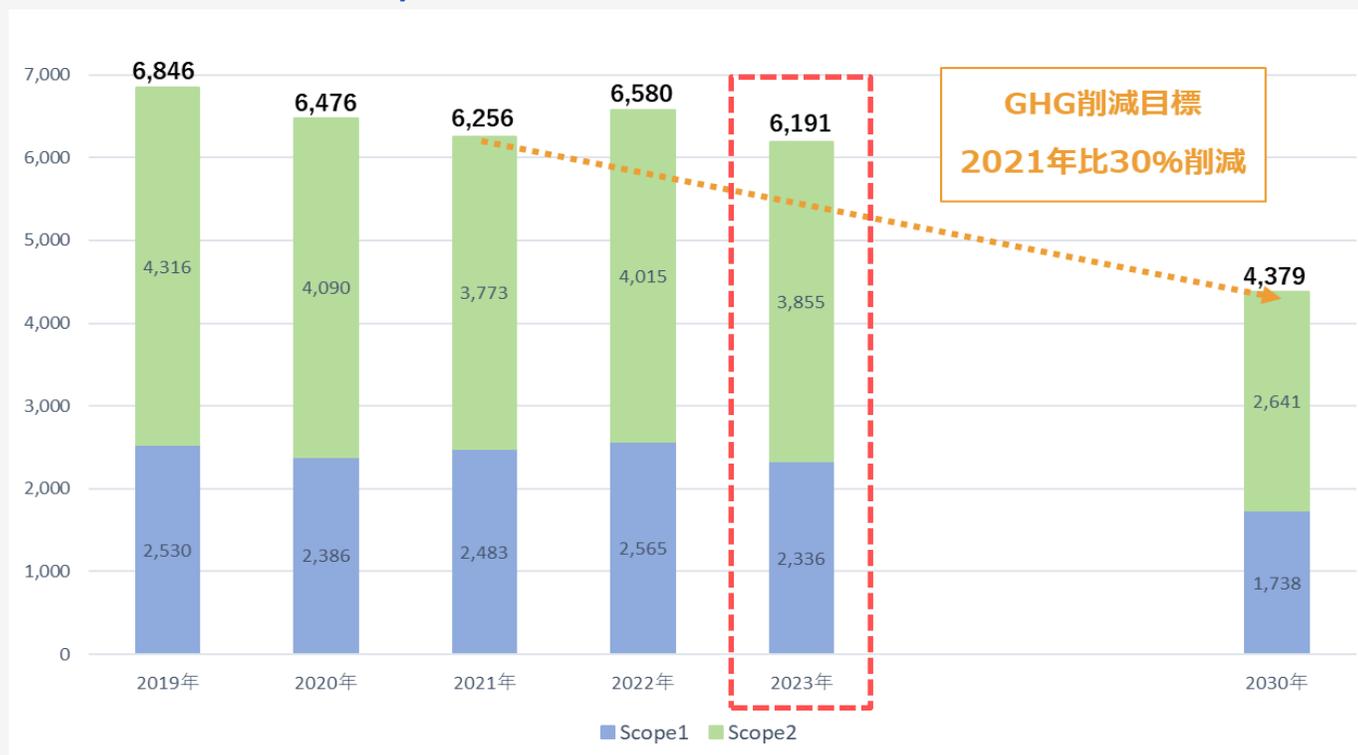


サステナビリティへの取組み

◆ 当社グループ 温室効果ガス(GHG)排出量 (Scope1、2)

2023年1月～12月累計 6,191t-CO₂ (2021年同月比99.0%)

2024年1月～ 3月累計 1,602t-CO₂ (2021年同月比90.0%)



主な取組み

- ・ 製造工程の省エネルギー化の推進(高効率設備への更新、再エネ導入等)
- ・ 各事業拠点のLED照明切替の推進
- ・ 営業車両の低燃費車への移行

(単位：億円)

	2024年12月期 第2Q			2024年12月期 通期		中期経営計画 最終年度目標
	実績	前年比	計画比	業績予想	前年比	業績目標
売上高	201.7	98.8%	97.7%	428.0	103.6%	445
室内外装品事業	173.2	101.5%	98.0%	356.0	103.7%	371
減速機事業	15.2	79.9%	84.3%	40.0	105.2%	41
駐車場事業	13.3	91.6%	113.4%	32.0	100.6%	33
営業利益	21.8	102.1%	108.2%	41.8	103.3%	44
経常利益	22.8	99.1%	108.8%	43.6	100.8%	46
当期純利益	15.4	103.9%	112.4%	27.6	101.9%	29

【業績進捗】

- ◆ 上期は、売上減収 当期純利益増益。各利益は計画を上回り推移。
- ◆ 下期は、室内外装品の主力製品における下期からの価格改定や、減速機における4月発売のサーボモータの拡販などにより、売上・利益を拡大。
- ◆ 今後更なる価格改定や高付加価値製品の導入、電動製品や間仕切りなど高単価製品の拡販などの施策を講じ、中期経営計画の達成を目指す。

2023年から2025年までの連結営業キャッシュイン119億円を原資に、株主還元と成長投資を強化

2023-25 投資計画		主な投資内容	総投資額
営業CF 119億円	維持投資 27億円	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存事業維持のための投資 	
	成長投資 53億円	<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術研究棟 新設 (2024年9月竣工予定) 	7.5億円
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 札幌製作所 移転 (2027年竣工予定) 	25.5億円
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業拠点整備 (関東支店 新設) (2023年5月開設) 	2.2億円
株主還元 38億円		<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業拠点整備 (広島支店移転候補地購入) (2023年12月実施) 	3.1億円
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 新成形棟 建設 (立川機工) (2023年4月稼働) 	5.8億円
		<ul style="list-style-type: none"> ■ サーボモータ事業 譲受 (富士変速機) (2024年1月譲受) 	2.0億円
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業領域の拡大とアライアンスの検討 	—
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 増配継続 ■ 自己株式取得 	

◆会社概要

社名	富士変速機株式会社
創業	1947(昭和22)年4月
資本金	25億750万円
総資産	127億6千万円(2023年12月期)
売上高	71億4千万円(2023年12月期)
従業員	227人(2023年12月末現在)
本社	岐阜県岐阜市中洲町18番地
事業	<p>変速機・減速機の製造ならびに販売 各種駐車場装置の製造ならびに販売 可動式間仕切の製造</p> <p>【営業拠点】 岐阜本社、東京支店 【製造拠点】 岐阜県内2工場</p>
上場	名古屋証券取引所 メイン市場

◆事業概要

【減速機関連事業】

- ・創業以来、変速機・減速機を製造、販売。
- ・産業機械向け、無人搬送機向けに加え、医療・食品・レジャー分野等、顧客仕様に基づく個別製品を中心に差別化、販売拡大。

【駐車場装置関連事業】

- ・減速機で培った技術を応用し、独自の“くし歯式”を採用するパズルタワー等の機械式立体駐車場装置を設計、施工ならびに販売。
- ・新規物件の受注獲得のみならず、Web出庫システムの導入、EV充電の拡充等といった付加価値提案により改修・保守分野にも注力。

【室内外装品関連事業】

- ・1976年3月の当社との資本業務提携以降、室内外装品関連事業における可動式間仕切や電動ブラインドの部品等を製造。

◆目的

1.グループガバナンスの強化

富士変速機の少数株主との利益相反関係をなくし、上場会社の短期利益志向から解放することで、長期的な視点でグループ全体の企業価値向上に取り組む。

2.グループ内の営業協働体制の強化による拡販

減速機事業	当社の主力取引先との関係性を活かした販路拡大
駐車場装置事業	共通ターゲット（ホテル・マンション等）の営業情報共有

3.上場廃止による上場維持コストの低減・収益改善

4.非支配株主持分利益の内部取込による当期純利益の向上

◆株式交換

株式交換比率	富士変速機 株式 1 株に対し、 当社株式0.25株 を交付 交付予定株式 1,639千株 … 自己株式を充当
--------	--

効力発生日	2024年10月28日 （予定）
-------	-------------------------

◆ 完全子会社化によるシナジー効果

完全子会社化による 人材交流・協働の取組み強化



減速機	富士変速機	当社商流を活用した <u>建材系・機械系卸への減速機拡販</u>
駐車場装置	当社	<u>ホテル等の物件情報の早期共有</u> による 販促強化・受注獲得
	富士変速機	当社を通じた <u>得意先への販促・販路拡大</u>



3. 企業価値向上の取組み

主力事業の強化や資産効率の改善、株主還元の強化による「ROEの向上」とIR活動の強化による「PERの向上」によりPBR 1倍超の早期実現を目指す

PBR
1倍超の
早期実現

0.53倍

経営の収益性・
効率性

ROE
の向上

6.0%

企業の成長期待

PER
の向上

9.46倍

収益性の向上

主力事業の強化
(中期経営計画 業績計画の達成)

資産・資本の効率性向上

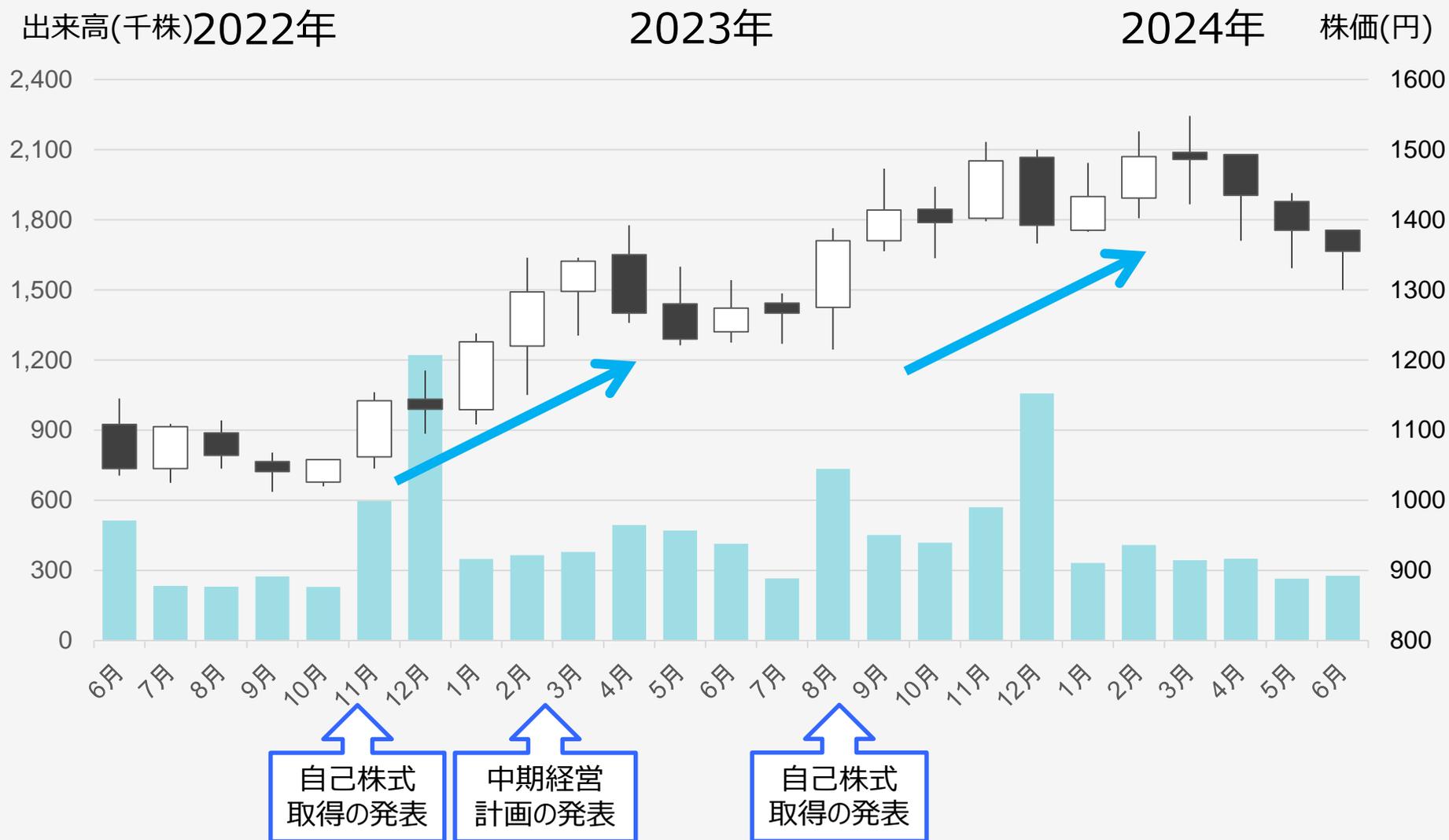
株主還元の強化
現預金の活用
棚卸資産の抑制

IR活動

開示資料の充実、非財務情報の積極開示
投資家との対話機会の拡充
(決算・会社説明会、IRミーティング)

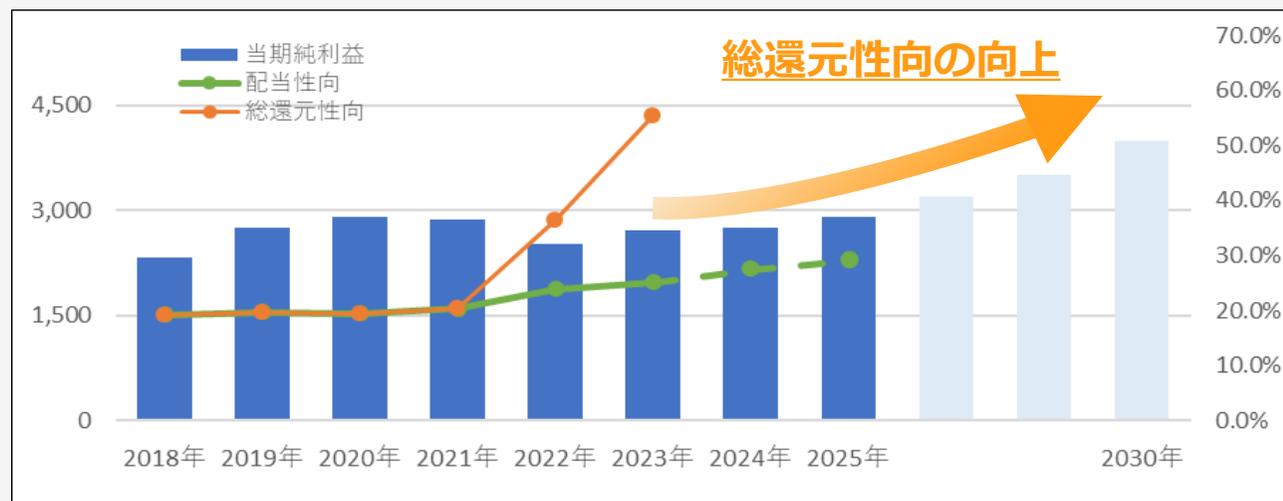
(数値は6月末時点)

株価・出来高の推移



株主還元の方針

- ・ 減配せず、配当水準を維持 または 増配を継続。【累進配当】
- ・ 2023-25年の中期経営計画期間中は、**年5円増配**を継続。
- ・ 2030年に向けて増配ペースを引上げ、経営環境に応じ自己株式の取得を進めることで、**総還元性向50%**を目指す。



← 中期経営計画 →

	2018年 実績	2019年 実績	2020年 実績	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2024年 見通し	2025年 見通し
1株あたり配当	23円	28円	29円	30円	31円	36円	41円	46円
対前年	+8円	+5円	+1円	+1円	+1円	+5円	+5円	+5円
配当性向	19.3%	19.7%	19.5%	20.4%	23.9%	25.1%	27.4%	29.0%
総還元性向	19.3%	19.7%	19.5%	20.4%	36.3%	55.3%	-	-

【自己株式取得期間】

- ・ 2022年11月～2023年4月
- ・ 2023年 8月～2024年3月

将来見通し等に関する注意事項

本資料における当社グループの今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。



Appendix

社名	立川ブラインド工業株式会社 証券コード7989
創業	1938(昭和13)年5月 ※1947(昭和22)年に株式会社改組
資本金	44億7,500万円
連結総資産	631億円
売上高	連結 413億円、単体 314億円 (2023年12月期)
従業員	連結 1,289人、単体 828人 (2023年12月末現在)
本社	東京都港区三田三丁目1番12号
事業	各種ブラインド／間仕切／ カーテンレールの製造・販売・設計施工 【営業拠点】 全国14支店59営業所(出張所含む) 【製造拠点】 2工場3製作所 【ショールーム】 10カ所 (海外1カ所含む) 【ディスプレイスペース】 2カ所 【連結子会社】 8社



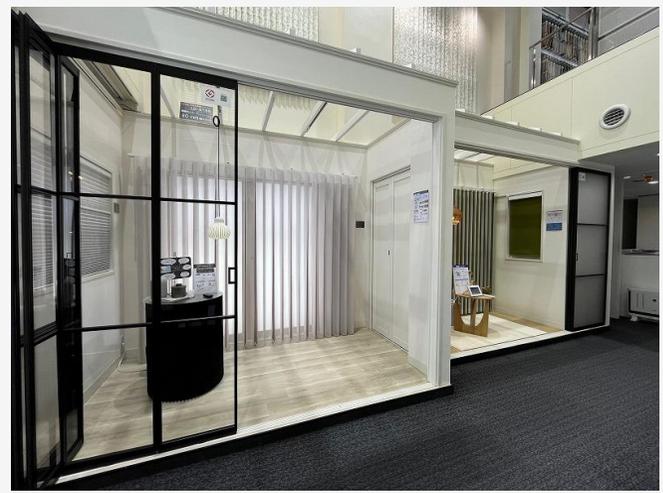
本社

支店・営業所 国内73カ所
 ショールーム
 ディスプレイスペース 国内11カ所

- 本社
- ★ ショールーム・ディスプレイスペース
- 支店
- 営業所
- ▲ 工場
- ▼ 製作所



2工場・3製作所



《主要拠点にショールーム
 ディスプレイスペースを設置》

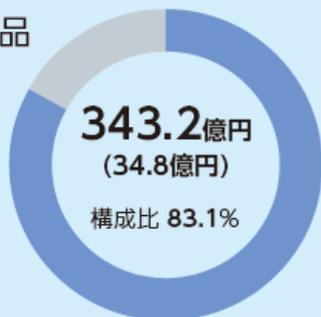
- 銀座ショールーム
- 札幌ショールーム
- 仙台ショールーム
- さいたまショールーム
- 横浜ショールーム
- 名古屋ショールーム
- 大阪ショールーム
- 広島ショールーム
- 福岡ショールーム
- 上海ショールーム …海外(中国)
- 新潟ディスプレイスペース
- 金沢ディスプレイスペース

※2024年8月1日現在

売上高(営業利益)

2023年12月期

室内外装品
関連事業



事業概要

各種ブラインド、
可動式間仕切り等の製造
ならびに販売

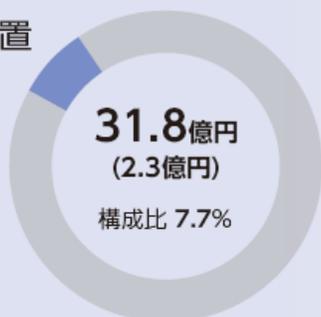
主な製品

- ブラインド
(ヨコ型・タテ型)
- ロールスクリーン
- 間仕切り
- カーテンレール



ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」

駐車場装置
関連事業



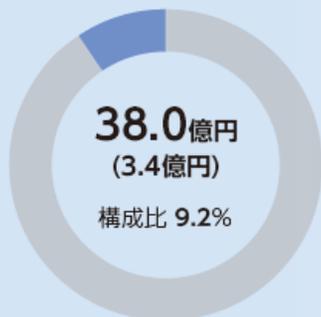
機械式立体駐車装置の
製造・販売ならびに保守点検

- エレベーター方式・
くし歯式立体駐車場
- 地下式駐車場
- 軽自動車用立体駐車場



エレベーター方式・
くし歯式立体駐車場

減速機
関連事業



減速機類の製造ならびに
販売

- 汎用減速機
(ギヤードモータ)
- 特殊減速機
- シャッター駆動装置

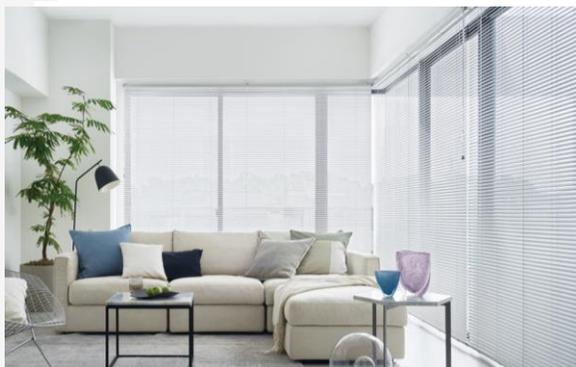


汎用減速機
(ギヤードモータ)

用途は、「住宅向け」だけでなく、「オフィス向け」、「公共施設向け」など多様

光を演出する、 お部屋をコーディネートする。

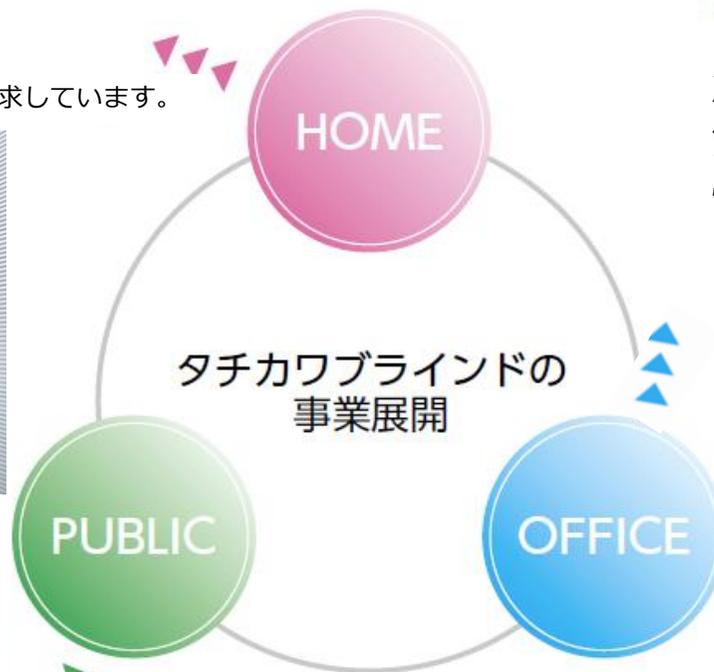
本当にリラックスでき、
快適さを実感できる空間とはなにか…。
私たちは、性能、素材、色彩など、
さまざまな視点からその本質をつねに追求しています。



パーフェクトシルキー〔リビング〕



プレイス〔医療・福祉施設〕



高度化するビジネス空間を、 もっと快適に。

オフィスで働く人たちが
仕事に専念できる環境をつくるために。
優れた操作性や省エネ効果の高い
ブラインドなどを取り揃え、あらゆる
快適空間づくりの提案を行っています。



左：東京ミッドタウン八重洲
電動ヨコ型ブラインド「ローリー-ESSタコスⅡ」
電動ロールスクリーン

右：読売テレビ 新社屋
電動ヨコ型ブラインド「ローリー-ESS半外装タコスⅡ」
電動ロールスクリーン 他

公共施設にふさわしい快適性を追求。

タチカワブラインドは、今までに庁舎、ホテル、学校、医療・福祉施設、スポーツ施設など、
都市のシンボルとなる建築物をはじめとしたさまざまな公共施設に納入した確かな実績を誇ります。

豊富なバリエーションを取り揃え、快適な環境づくりに貢献

■ ヨコ型ブラインド

パーフェクトシルキー



遮蔽性・意匠性に優れた最上級のヨコ型ブラインド。スラットにコードを通す穴がなく、光漏れを低減。遮熱性にも優れています。

木製ブラインド

フォレティアエグゼ・フォレティア

天然木を使用した木製ブラインド。木目が美しく意匠性に優れています。フォレティアエグゼはスラットにコードを通す穴をなくし意匠性・遮蔽性に優れています。



■ ロールスクリーン

ラルクシールド



生地デザイン・カラー・機能が豊富なロールスクリーン。生地を上下に昇降させることで採光を自由に調整。ワイドサッシから小窓まで幅広く対応します。

調光ロールスクリーン ルミエ

前後の2枚のレースの間にドレープ生地を配した立体構造の調光ロールスクリーン。わずかな操作で採光と眺望をコントロールできます。



■ タテ型ブラインド

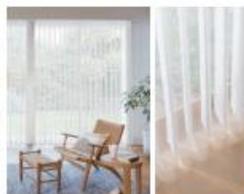
ラインドレープ



スラットのデザイン・カラー・機能が豊富な住宅向けのタテ型ブラインド。スラットの回転と左右の開閉ができ、腰高窓からワイドサッシまで幅広く対応します。

調光タテ型ブラインド エアレ

タテ型ブラインドのスタイリッシュさとカーテンのやさしい雰囲気と併せ持ち、採光と眺望を自由にコントロールできる調光タテ型ブラインド。U字状にウェーブした生地を傾けることによって採光状態、全閉状態を作り出します。



■ 間仕切り

プレイス



温かみを感じる木目調フレームが特長の間仕切り。シーンや用途に応じて選べる格納方式と出入りの方法をご用意しています。

プレイス スウィング

スリムなフレームのスタイリッシュなデザインが特長の間仕切り。軽快な操作感で開放的な空間づくりをサポートします。



■ プリーツスクリーン

ゼファー・フィュー・ペルレ

プリーツ状の生地を上下に開閉することで採光をコントロールするプリーツスクリーン。すっきりしたフォルムでワイドサッシから小窓まで幅広く対応。



■ カーテンレール



デザイン性・機能性・静音性に優れたカーテンレールやピクチャーレールなど、用途や部位に応じて選べる豊富なラインナップとカラーバリエーションをご用意。

遮蔽性などの付加価値の高い高機能製品の開発、提案を中心とした需要喚起、ラインナップ拡充

木製ブラインド「フォレティアエグゼ」



・スラットにコードを通す穴がなく、遮蔽性の高い木製ブラインド。カラーラインナップを拡充したほか、国産材やFSC®認証スラットなど環境に配慮した製品を提供。

・電動化対応やバッテリー仕様も新発売。

※FSC®認証 (FSC®-C195138)

責任ある管理された森林と、限りある森林資源を将来にわたって使い続けられるよう適切に調達された木部材に対する国際認証制度。

調光タテ型ブラインド「エアレ」



・タテ型ブラインドのスタイリッシュさと、カーテンのやさしい雰囲気をあわせもつ調光タテ型ブラインド。

・ドレープとレースが一体となったU字状生地を取付け、採光と眺望を自由にコントロール。